



# 飯田市 歴研ニュース

## 第9回 飯田市地域史研究集会

21世紀もすでに10年が過ぎました。戦後復興から高度成長を遂げた日本列島の中央に位置する飯田・下伊那は、敗戦直後の1947年には飯田大火、ちょうど50年前には全域が三六災害という大水害を経験し、高度成長を経て、この60年余の間に大きく変容してきました。

今回の第9回地域史研究集会では、復興から高度成長の時代を人々はどのように生き、何を体験してきたのか、飯田・下伊那という場所から具体的に考えてみます。



「飯田市復興祭」  
パンフレット  
(1954年)

# 戦後復興から 高度成長へ

# 飯田・下伊那の経験

### 8月27日 (土)

- 13:00～ 開会 歴研賞授賞式
- 13:30～ 趣旨説明 森 武磨 (神奈川大学教授/顧問研究員)
- 13:40～ 講演 戦後復興と高度成長を生きる一移動と暮らしの視点から一  
大門正克 (横浜国立大学教授)
- 14:50～ 講演 敗戦前夜から高度成長を生きた一教員の経験  
小林恭之助 (飯田市)

### 8月28日 (日)

- 9:30～ 報告 映画『ひとりの母の記録』と山吹村  
岩波映画『ひとりの母の記録』(1955)上映  
大串潤児 (信州大学准教授/客員研究員)
- 11:00～ コメント 宮下道彦 (高森町)
- 12:50～ ミニコンサート ソノール・クラリネットアンサンブル
- 13:10～ 報告 中学生による街づくりへの参画ーりんご並木を手がかりにー  
飯田東中学校 学友会・田中清一 (教諭)
- 13:40～ 報告 長野原の養蚕と歴史的背景  
長野原歴史研究会 (飯田市竜丘)
- 14:30～ 報告 近世飯田町と村を結ぶ「振商札」  
伊坪達郎 (調査研究員)
- 15:10～ 報告 古代信濃国の牧 北村安裕 (研究員)



中央自動車道開通日の銀座通り交差点  
(1975年8月、弓谷梅治氏撮影)

### 27日 9:30～ 研究員会議

飯田市歴史研究所に関わる  
諸研究者による会議を公開で行います。

会場 飯田信用金庫本店 大会議室

資料代 500円 (2日間通して) ※高校生以下無料・事前申込み不要

主催 飯田市・飯田市教育委員会 (歴史研究所/図書館)

## 第1回 満州移民研究ゼミの様相



昭和18(1943)年8月、教学奉仕隊に加わり満州の義勇隊訓練所を訪問した時の記録『満洲紀行』を読んでいます。当時の満州を体験された方、満州移民を調査研究している方、宮下功の思想に関心を持つ方など10名が参加しています。

New!  
新講座

歴研ゼミ

満州移民研究ゼミ  
担当 本島調査研究員

- 開催日 第3回 8月20日(土)  
第4回 9月10日(土)
- 時間 10:00~11:40
- 場所 上郷公民館103号室
- 内容 宮下功『満洲紀行』をよむ

## 新刊紹介

### 満州開拓移民オーラルヒストリー 下伊那のなかの満洲 聞き書き報告集 9

満蒙開拓を語りつぐ会は、地域に残る満州移民の記憶を聞き取り、満州移民送出の実態を明らかにし、体験者の思いと記憶を報告集にまとめ伝えています。

この集には、義勇軍の記録写真撮影に満州へ向った熊谷元一さんをはじめ、12人の方々の語りを収録しています。

#### 収録内容

- 1 写真集『会地村』から拓務省囑託に生徒との約束をつらぬいて
- 2 中国残留者の帰国支援に生涯をかけて
- 3 姉と弟の記憶に残る満洲
- 4 十三歳の敗戦
- 5 加藤完治所長の薫陶を受けて
- 6 ハルビンの紙問屋に雇われて
- 7 入植三ヵ月で敗戦
- 8 自決組と別れて脱出組へ
- 9 一時帰国で知ったふるさと
- 10 子どもたちのために帰国を決意

刊行しました



- 熊谷 元一
- 稲垣 秀子
- 中島 多鶴
- 中島 やすゑ・中島 利
- 中島 千鶴
- 桜井 好春
- 湯澤 政一
- 塩沢 兼代
- 竹内 和市
- 小石 峯 幸男
- 多田 清司

満蒙開拓を語りつぐ会 編  
B5判・367頁 定価1,000円

## 地域史講座 飯田・上飯田の歴史

9月28日(水)

飯田市民プール建設と市民生活

講師：本島 和人(調査研究員)

時間：19:00~21:00

場所：東野公民館

1960年に谷川緑地帯につくられた市民プール建設と高度成長期の飯田市民の生活について考えてみたいと思います。

## 飯田市歴史研究所年報 9

昨年の地域史研究集会におけるパリ第四(ソルボンヌ)大学F・J・ルッジウ教授の講演記録のほか、地域史研究の成果を多数収録しました。

(論文・研究ノート)

- ・君侯の都市
- ・城下町飯田の性格を考える
- ・上飯田村の「町貫」について
- ・戦前期飯田町の商工自営業者層の形成
- ・一生懸命奮闘あらん事を  
—陸軍少年航空兵篠田隆の生と死—
- ・幕末の飯田藩主
- ・大正期における下伊那の青年運動と読書  
—『胡桃澤盛日記』より—

【その他調査・報告記録など収録】

9月下旬刊行予定

飯田市歴史研究所 編  
B5判・286頁 定価1,800円

HK  
コラム

## 「飯田・上飯田の歴史」(仮題) 刊行事業より

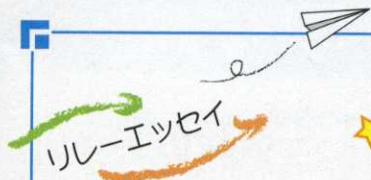
上巻  
近代・近世

### 町と村と御用水

現在わたしたちが呼び慣わしている「御用水」は、井戸だけでは足りない町と城の水需要を補うため整備されたものとして松川水系から取り込まれ、上飯田村の羽場地区をも潤す用水として知られています。このほかにも野底水系から取り込まれ、伝馬町へ引き込まれた「伝馬井」も、橋北地区の江戸町など武家屋敷に利用されたことから「御用水」と呼ばれていました。このほか町の水利用を補うという面では、野底水系の上飯田大井から分流した「十町井」も橋南地区の町々へ供給されていました。

松川水系の御用水は、飯田藩や町、上飯田村の三者がそれぞれ分担する区域を決めて補修を行っており、補修費用については各町や村の共有費に含まれていました。ですが通りの真ん中を通る御用水の本流から町の中へ分水するとき、水を通すため樋などは個人および複数名での共同による出費で賄われていたようです。さらに御用水も伊賀良井から下流に取水口を設けているので、松川の水量が減ると、伊賀良井を管理する村むらとの間で折衝しなければならないなど、水の心配が完全に払拭されたわけではありませんでした。こうした状況は、近代的な水道事業が始まるまで後を引くことになるのです。(竹ノ内雅人)

| 近世史ゼミ<br>担当 竹ノ内研究員                         | 思想史ゼミ<br>担当 池田研究員  | 近現代史ゼミ<br>担当 田中調査研究員                                     | 建築史ワークショップ<br>担当 金澤客員研究員                           |
|--|--|--|--|
| ■開催日 8月9日/8月30日<br>9月6日/9月20日<br>(10月4日予定) | ■開催日 8月10日<br>9月7日/9月21日<br>(10月5日予定)<br>※8月は1回のみのお開講です。 | ■開催日 8月6日<br>9月10日/9月24日<br>(10月8日予定)<br>※8月は1回のみのお開講です。 | ■開催日 8月休講<br>9月13日<br>(10月11日予定)<br>※変更になる場合があります。 |
| ■時間 19:00～20:40                            | ■時間 19:00～20:40  | ■時間 17:00～18:40  | ■時間 19:00～20:40                                    |
| ■場所 歴史研究所研修室                               | ■場所 歴史研究所研修室   | ■場所 歴史研究所研修室   | ■場所 歴史研究所研修室                                       |



### 新スタッフ紹介

## ★ 伊坪 達郎 調査研究員



近世地域史研究 / 1950年飯田市生まれ

4月から調査研究員として飯田市歴史研究所へお世話になっています。本年3月迄38年間義務教育の学校現場で勤務をしていました。その間学生時代からの研究を細々と続けてきました。また授業の中で、それぞれの学校の地域にある素材をなんとか授業で生かしたり、また地域の様々な方々施設との連携をはかったり、地域の中の学校を意識した日々を過ごしてきました。

歴史研究所に入って、たいへん多くの仕事をこなしている、研究員をはじめとするスタッフの皆さんの手際良さに感服する日々です。何からやっていったらいいのか右往左往する毎日ですが、2か月たって少しずつ様子もわかり、自分の持ち場もわかってきました。これからじっくり考え、着実にやっていけたらと思っています。それにつけても歴史研究所にとって緊要の課題は、旧市の『飯田・上飯田の歴史』の発刊となっています。2年後の完成を目指して、歴史研究所内外の担当者が日々努力を重ねています。私も入所してから原稿の分担をいただきました。全く新しい分野ばかりで戸惑っていますが、なんとか足手まといにならないよう、頑張っていくつもりで進めています。

学校勤務をしている時は、充分時間をかけて出来なかったことも多々あります。そうしたことへ取り組んでいきたいとも考えています。また学校勤務時の続きとして、地域の中の歴史研究所についても考えていきたいと思えます。この地域にとってどう有用でありうるのか、結構大きな問題であるように思います。私の立場でどの程度の事が出来るのかわかりませんが、学校・地域などでいろいろ活用を考えられたら、遠慮なく声をかけてください。よろしくお願ひします。



### 飯田町の上水道敷設（明治～大正）

黒川井水字ワル沢付近の掘抜・掛樋などを表している



明治27年 飯田町・上飯田村が郡へ提出した用水路開鑿願の付図

江戸時代、松川と野底川から水を引き、井戸を掘って飲料水を得ていた飯田・上飯田地域ですが、隣村との関係もあり、得られる水量が限られていました。灌漑用水に苦しんでいた上飯田村では明治の初めに大平の黒川上流から水を引いてくる計画を立てましたが、長い隧道を掘るなど工事が難航して費用が嵩み、頓挫します。しかしその後も早魃や町の火災が起るたびに水不足が痛感され、明治27年には飯田町と上飯田村は協力して黒川よりの引水を計画するものの、周辺村の反対などにより実現できずにいました。それでも飯田町の人口の増加や産業の発展はより多くの水を必要とし、また衛生のためにも上下水道の整備が必要だったのです。加えて明治中期からは水力発電が始まり、他の村々でも野底川や松川・黒川の水を活用しはじめます。こうしたなか、ようやく大正13年より飯田町の水道敷設が本格的に始まり、昭和3年に完成しました。黒川からの安定的な引水は飯田・上飯田の水問題を解決し、同時期の伊那電開通とともに下伊那の中心都市としての飯田町を支える重要なインフラとなったのです。（池田勇太）

## 定例研究会

研究活動促進のため、定期的に公開研究会を開催しています。

10月8日(土)

### 大正昭和期の飯田町における人口移動 —飯田町役場文書寄留届の検討—

講師：田中 雅孝(調査研究員)

時間：14:00～16:00  
場所：歴史研究所 研修室

## 歴研日誌

6月

- 1日 歴研ニュース52号発行
- 1日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出発』(9)」
- 3-5日 第12次南信濃旧役場文書調査合宿  
〔南信濃基幹センター〕
- 4日 満州移民研究ゼミ「宮下功『満洲紀行』を読む」  
〔上郷公民館〕
- 5日 建築史ワークショップ  
「飯田・下伊那の失われた歴史的建造物1」
- 7日 近世史ゼミ「天明池田町火事」
- 8日 平和資料収集委員会プロジェクト会議出席  
(池田研究員)〔教育委員会〕
- 9日 出前講座「長野県農業と満州移民」  
—一本島和人調査研究員〔松本大学松商短期大学部〕
- 11日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)下巻研究会〔専修大学〕
- 11日 近現代史ゼミ「大正13年の南信新聞と胡桃澤日記調査」
- 12日 明治維新史学会大会出席(池田研究員)〔明海大学〕
- 14日 建築史ワークショップ  
「飯田・下伊那の失われた歴史的建造物2」
- 15日 思想史ゼミ  
「吉本隆明「天皇および天皇制について」(1)」
- 16日 教育委員会施設整備会議
- 17日 下伊那教育会中部支会同教科会(社会)研修講義  
「災害の復興からみた飯田大火」  
—一本島和人調査研究員〔飯田東中学校〕
- 19日 三六災害50年シンポジウム出席(本島調査研究員)
- 21日 行政管理研究センター公文書管理法制セミナー出席  
(伊坪調査研究員)〔全国町村議員会館〕
- 21日 非現用公文書移管受け入れ開始
- 21日 近世史ゼミ  
「鎮西徹氏所蔵文書 京江戸新聞紙(文久三年)」
- 22日 定例研究会  
「近世飯田町の火災と消防」—伊坪達郎調査研究員
- 22日 長野県史料保存活用協議会出席〔松本市〕
- 25日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)上巻一章会議  
〔上郷考古博物館〕
- 25日 近現代史ゼミ  
「今井清一『日本の百年(6)震災にゆらぐ』」
- 28-30日 職場体験実習受け入れ(竜東中学校2年生)

7月

- 1日 羽場獅子舞保存会写真資料調査
- 2日 延喜式研究会出席—北村研究員〔法政大学〕
- 2日 飯田アカデミア第63講座「りんご庁舎」  
「近世阿波の山と地域社会」—町田哲さん  
(鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授)  
第1テーマ  
「近世前期の山と請負人—祖谷山を事例に—」
- 3日 第2テーマ  
「御林目付からみた山と生業」  
—那賀川流域を事例に—
- 5-7日 職場体験実習受け入れ(緑ヶ丘中学校2年生)
- 5日 胡桃澤盛日記刊行会打ち合わせ
- 5日 近世史ゼミ「御用達と御仕送」
- 6日 思想史ゼミ  
「吉本隆明「天皇および天皇制について」(2)」
- 8日 羽場獅子舞保存会写真資料整理
- 9日 近現代史ゼミ  
「大正13年1月2月の南信新聞と胡桃澤日記」
- 9日 満州移民研究ゼミ「宮下功『満洲紀行』を読む」  
〔上郷公民館〕
- 12-14日 職場体験実習受け入れ(高陵中学校2年生)
- 12日 建築史ワークショップ  
「飯田・下伊那の失われた歴史的建造物3」
- 16日 出前講座「満州移民と長野県、そして駒ヶ根」  
—一本島和人調査研究員〔赤穂公民館〕
- 16日 出前講座 鼎の歴史を学ぶ会  
「本棟造りと養蚕建築」  
—金澤雄記客員研究員〔鼎公民館〕
- 16-18日 第13次南信濃旧役場文書調査合宿  
〔南信濃基幹センター〕
- 19日 平和資料収集委員会プロジェクト会議出席  
(池田研究員・本島調査研究員)〔教育委員会〕
- 19日 近世史ゼミ「飯田町舊記 掃地/在郷町箕瀬」
- 20日 『下伊那のなかの満洲 聞き書き報告集9』刊行
- 20日 思想史ゼミ「日高六郎編『戦後思想の出発』(9)」
- 22日 グローカルシティー飯田プロジェクト研究会出席  
(本島調査研究員・齊藤客員研究員)  
〔りんご庁舎〕
- 22日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)上巻研究会〔所内〕
- 23日 『飯田・上飯田の歴史』(仮題)上巻研究会  
〔りんご庁舎〕
- 23日 地域史講座 飯田・上飯田の歴史シリーズ7  
「飯田城下の町役人と惣町」  
—吉田伸之研究部長〔りんご庁舎〕
- 23日 『下伊那のなかの満洲 聞き書き報告集9』  
出版記念会
- 28-29日 職場体験実習受け入れ(竜東中学校2年生)
- 28日 定例研究会「大平の開発と発展(2)」  
—清水迪夫調査研究補助員
- 28日 近現代史ゼミ「今後のゼミ活動について」
- 30日 第4回歴史学オリエンテーション
- 30日 中央大学佐藤ゼミ来所
- 31日 美博まつり 百人一首ワークショップ
- 31-8/6 天草市夏期史料調査自主研修  
(池田・竹ノ内研究員)

## 催事スケジュール

| 日  | 月   | 火                  | 水      | 木                 | 金                | 土                       |
|----|-----|--------------------|--------|-------------------|------------------|-------------------------|
| 8月 | 8/1 | 2                  | 3      | 4                 | 5                | 6                       |
|    | 8/1 | 天草史料調査研修<br>～6日    | NL53発行 | 2日～<br>職場体験(西中)   |                  | 近現代史ゼミ                  |
| 7  | 8   | 9                  | 10     | 11                | 12               | 13                      |
|    | 8   | 飯田科学研究学校調査<br>～10日 | 近世史ゼミ  | 思想史ゼミ<br>9日～歴史館調査 | 横浜国立大生研修<br>～13日 |                         |
| 14 | 15  | 16                 | 17     | 18                | 19               | 20                      |
|    | 15  |                    |        |                   |                  | 満州移民研究ゼミ                |
| 21 | 22  | 23                 | 24     | 25                | 26               | 27                      |
|    | 22  |                    |        |                   |                  | 9th地域史研究会<br>～28日(臨時休所) |
| 28 | 29  | 30                 | 31     |                   |                  |                         |
|    | 29  | 下巻研究会              | 近世史ゼミ  |                   |                  |                         |
| 9月 |     |                    |        | 9/1               | 2                | 3                       |
|    |     |                    |        | 8/30～<br>職場体験(旭中) |                  |                         |
| 4  | 5   | 6                  | 7      | 8                 | 9                | 10                      |
|    | 5   | 近世史ゼミ              | 思想史ゼミ  |                   | 6日～<br>法政大学プレ研修  | 近現代史ゼミ<br>満州移民研究ゼミ      |
| 11 | 12  | 13                 | 14     | 15                | 16               | 17                      |
|    | 12  | 建築史<br>ワークショップ     |        |                   | 13日～<br>東京大清内路調査 |                         |
| 18 | 19  | 20                 | 21     | 22                | 23               | 24                      |
|    | 19  | 近世史ゼミ              | 思想史ゼミ  |                   |                  | 近現代史ゼミ                  |
| 25 | 26  | 27                 | 28     | 29                | 30               |                         |
|    | 26  |                    | 地域史講座  |                   |                  |                         |

開所日

休所日

開所時間 午前9時～午後5時

休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日